

『時代の波は 寄せては返す ～ 意識の根源と原動力 ～』

2023年2月4日(土)『第49回がん哲学外来メディカルカフェ in 常盤台』の講演会(画像)に赴いた(常盤台バプテスト教会に於いて)。『コロナ時代の社会で生きるコツ』として、筆者は【「ペスト流行の時代に、マルティン・ルター(1483-1546)は、王の避難命令を無視して、近くに居る困ってる人に手を差し伸べた。&「過度の自粛でも軽度自粛でもなく、常識的に狭き門、真ん中を通る人物の時代的要請」】をさりげなく語った。さらに、感染症に命をかけた3人の日本人の医師【「天然痘」=笠原良策(1809-1880)「梅毒」=秦佐八郎(1873-1938)「チフス」=肥沼信次(1908-1946)】を紹介した。時代の波は寄せては返すがすべての始まりは「人材」である。行動への意識の根源と原動力をもち、『はしるべき行程』と『見据える勇氣』である。講演の後、個人面談の時も与えられた。大変貴重な時となった。

2022年『樋野先生と行く日光東照宮 紅葉の旅』の記念誌を製作された森尚子氏と筆者の講演は『スルメ』のようであると指摘され『スルメ症候群』認定証を創設された看護師の戸田裕子氏も今日参加されていた。そして、『スルメ症候群数え唄』(作詞/作曲:中野綾子氏)が昨年完成された(下記)。ただただ驚きである。

『スルメ症候群数え唄』

一度 聞いてもわからない

二度も 聞いてもわからない

三度 聞いて首傾げ

四度 聞いてうなずける

あ～あ～ スルメ症候群

あ～あ～ スルメ症候群

訳がわからんのがいいね

早速、【今日も格調高い講演をありがとうございました。一喜一憂しない、批難しない、評価をしない、行いの美しいひとになれるよう精進していきたいと思います。】との心温まる励ましのメールを頂いた。

第49回がん哲学外来 メディカルカフェin常盤台

会場&オンライン同時開催

2023年2月4日(土) 13時より

～樋野興夫先生をお招きして～

会議アプリ、ZOOMを用いたオンライン・メディカルカフェのご案内です。
PCでもスマートフォンでも参加できます。がん患者、患者のご家族、ご遺族
がんに関心のある方が、病気の不安や悩みを共有し、寄り添い対話する場です。



プロフィール

2008年順天堂病院で施行的に開設した「がん哲学外来」
が大きな評判を呼び、全国各地、海外からも注目され、
患者とその家族を支えられていて、患者と医療の隙間を
埋める必要を感じ各地で「がん哲学外来&カフェ」が
開設されている。先生の語られる「いのち&こころ」に
響く言葉は多くの患者や家族を支えています。

会場 常盤台バプテスト教会



申し込み方法

常盤台教会のホームページのイベントより
お申し込みください。

東京都板橋区常盤台2-3-3 03 3960 0449 牧師 友納靖史

ZOOMを使ったことのない方は、操作方法をサポートいたします。
お申し込みの際お知らせ下さい。

主催：常盤台バプテスト教会 後援：一般社団法人がん哲学外来